平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	新沖緑地ソーラー時計改修工事								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	2	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	4	開設公園整備事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
新沖緑地は、新沖工業団地と市街地との間に位置し、公害防止事業団により公害災害の防止と都市環境の保全を図るため、小野田地区共同福利施設(緩衝緑地)として整備、譲渡された。 ソーラー時計が故障しており、改修について市民から強い要望がある。		故障したソーラー時計を改修し、公園利用者の利便性の向上を図る。		故障したソーラー時計1基を撤去し、新設する。	
活動指標			成果指標		
整備対象設備数			対象設備整備率		
目標値(基)		実績値(基)		成果指標の到達度(B/A)	
1		1		100	
目標値A(%)		実績値B(%)		%	
100		100		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	1,300,000	1,018,500	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		1,300,000	1,018,500	
合計		1,300,000	1,018,500	合計		1,300,000	1,018,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし		なし	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要
	A評価であるが、事業完了のため終了する。		平成23年度事業完了により廃止
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		都市整備係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	公園施設災害復旧事業								
予算費目	款	11	災害復旧費	項	2	公共土木施設災害復旧費	目	2	公園施設災害復旧費
	細目	1	公園施設災害復旧費	細々目	1	公園施設災害復旧費(単独)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
平成23年5月、7月の大雨により被災した公園施設を復旧する。 石山公園(5月10日被災) 竜王山公園(7月4日被災)		利用者が安心して利用できるよう公園機能を回復する。		被災した施設を復旧する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
被災公園数			復旧率(対象設備整備率)				
目標値(箇所)		実績値(箇所)		目標値A(%)		実績値B(%)	
2		2		100		100	
%							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	1,197,000	1,114,050	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 (100)	1,197,000	1,114,050
合計		1,197,000	1,114,050	合計		1,197,000	1,114,050

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	1,812,300

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策
なし		なし		

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当		C
	A評価であるが、事業完了のため終了する。		

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		管理緑地係		No	1
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理		
事業名 開設公園維持管理業務							
款		8	土木費		項		5
目		1	緑地公園費		目		2
細目		緑地公園費		細々目		1	
緑地公園費		緑地公園一般管理費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務		(都市公園法)		予算種別	
						継続	
						経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民が快適に生活できるよう、公園の維持管理を適切に行う。		都市公園法に規定される都市公園の維持管理を実施する。		清掃・草刈・剪定・設備保守等を委託する。管理協定を締結している公園については、清掃・草刈等の日常的な維持管理を地元で行い、その他について市又は指定管理者が行う。	
活動指標			成果指標		
			管理委託公園数(指定管理を含む)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
				94	
目標値A(箇所)		実績値B(箇所)			
64		60		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	需用費	17,934,425	17,794,792	財(源割内訳)	国庫支出金	()		
	役務費	4,820,672	4,810,552		県支出金	(17.5)	8,339,000	8,144,000
	委託料	16,058,268	15,782,599		地方債	()		
	その他	8,832,324	8,561,554		その他	(4.8)	2,294,000	2,541,672
合計	47,645,689	46,949,497	一般財源		(77.7)	37,012,689	36,263,825	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計				
		1	6,041,000	47,645,689				
				46,949,497				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
老朽化した公園施設が多く、改修の必要がある。	緊急度の高いものから順次改修を進めていく。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	平成23年4月1日に供用開始した公園4か所については、平成24年度から指定管理者による管理となっている。
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		管理緑地係		No	2
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理		
事業名 県立江汐公園指定管理者事務事業							
款 8		土木費		項 5		都市計画費	
目 2		緑地公園費		目 2		緑地公園費	
細目 1		緑地公園費		細々目 1		緑地公園一般管理費	
会計種別		一般会計					
事務区分(根拠法令)		自治事務		(都市公園法)		予算種別	継続
							経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
昭和39年に市の都市公園として供用開始された後、昭和49年から県立公園として本格的な整備が始まり、平成24年3月31日で事業が完了している。平成24年4月1日から県立公園の移管を受けて、全域が市の都市公園となった。		管理者として維持管理運営事業を実施する。		公園施設の清掃・草刈等の維持管理作業や有料公園施設の運営業務を行う。	
活動指標			成果指標		
行為許可取扱件数			前年度を上回る利用者数		
目標値(件)		実績値(件)		成果指標の到達度(B/A)	
		830		97	
目標値A(人)		実績値B(人)			
166,300		161,125		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,889,864	2,889,864	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	役務費	469,085	464,713		県支出金	()	
	委託料	18,814,690	18,810,022		地方債	()	
					その他	(100)	22,173,639
			一般財源		()		
合計		22,173,639	22,164,599	合計		22,173,639	22,164,599

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.55	3,322,550

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成24年度からは市が維持管理を行う。	他の公園と同様に指定管理を導入する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	行為の許可件数を活動指標としており、目標設定が困難なため目標値は定めない。
-----	---------------------------------------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		管理緑地係		No	3
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理		
事業名 指定管理者委託事務事業							
款 8		土木費		項 5		都市計画費	
目 2		緑地公園費		目 2		緑地公園費	
細目 1		緑地公園費		細々目 1		緑地公園一般管理費	
会計種別		一般会計					
事務区分(根拠法令)		自治事務		(地方自治法、都市公園法)		予算種別	
						継続	
						経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
行政コストの削減と市民サービスの向上のため、施設の指定管理を行う。		竜王山公園オートキャンプ場、都市公園、緑地公園の指定管理		施設の清掃、草刈、剪定等の維持管理及び有料公園施設の管理運営	
活動指標			成果指標		
指定管理施設数			有料公園施設の利用者数		
目標値(箇所)			実績値(箇所)		
64			60		
目標値A(人)		実績値B(人)		成果指標の到達度(B/A)	
39,269		41,578		106%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	65,330,000	65,330,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	(100)	65,330,000
合計		65,330,000	65,330,000	合計		65,330,000	65,330,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.25	1,510,250

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
指定管理者との連絡体制が不十分な面がある。	要望苦情があるときだけでなく、日常の管理等について月次報告書以外に定期的な連絡・報告体制を整える。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	平成23年4月1日に供用開始した公園4か所については、平成24年度から指定管理者による管理となっている。
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	2	緑地の保全			
事業名	松くい虫防除事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	2	都市公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市が管理する都市公園の系根地区公園は、かつて「糸根の松原」と呼ばれる砂浜で、園内の松の大木は市文化財に指定されている。中には樹齢100年を超える大木も見られる。 松枯れの原因であるマツノザイセンチュウはマダラカミキリを介して松の樹幹に進入して松を枯らす。これを防ぐ方法は、薬剤の空中散布か薬剤を注入して進入するセンチュウを殺す予防接種しかない。		公園・緑地の保全を目的として、系根地区公園の松を貴重な遺産として後世に伝える。		適切なサイクルで松に樹幹注入を実施し、松枯れを防止する。	
活動指標			成果指標		
注入木本数			松の本数		
目標値(本)		実績値(本)		成果指標の到達度(B/A)	
26		26		99%	
目標値A(本)		実績値B(本)			
122		121			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	693,000	487,305	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		693,000	487,305	
合計		693,000	487,305	合計		693,000	487,305
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,812,300				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし		なし	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		都市計画課		管理緑地係		No	1
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	3	緑化の推進		
事業名 都市緑化推進事業							
款 8		土木費		項 5		都市計画費	
目 2		緑地公園費		目 2		緑地公園費	
細目 1		緑地公園費		細々目 1		緑地公園一般管理費	
会計種別		一般会計					
事務区分(根拠法令)		自治事務		(都市緑地法)		予算種別	
						継続	
						経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順		
昭和25年の国土緑化運動から始まった事業であり、都市計画課は山陽小野田市緑化推進協議会の事務局である。		森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図る。		山陽小野田市緑化推進協議会の活動である緑化啓発のための募金活動、苗木の配布、植樹の実施の支援を行う。		
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
植樹の本数及び苗木の配布数			山陽小野田市緑化推進協議会の加入者件数			
目標値(本)		実績値(本)		目標値A(件)		99
2,925		2,294		16,123		
				実績値B(件)		%
				16,059		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	94,500	90,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	負担金補助及び交付金	160,000	160,000		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100)	254,500	250,000
合計		254,500	250,000	合計		254,500	250,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.55	3,322,550				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
毎年度継続実施している事業がほとんどであり、目新しさが無いことから、今以上の市民の認知と理解を得る状況にない。		理事会で出された意見や提案を積極的に検討したい。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			